

“放射線・放射能計測セミナー” 「放射線・放射能計測の信頼性について」

- 主催：電子計測システム研究会
- 担当部署：インダストリ・システム部
- 参加者数：約40名

概要

東日本大震災による福島第一原発事故以降、原子力発電のみならず、放射能や放射線量の計測・測定に大きな関心が寄せられています。

電子計測システム研究会では、電子計測分野以外の分野でどういった計測技術が活用されているかを研究し、新しい分野での展開を研究する会です。

研究会では、放射能や放射線量の計測に活用されている技術を研究するため、(独)産業技術総合研究所 計測標準研究部門 量子放射科 科長 齋藤則生様にお越しいただき、放射線・放射能計測の信頼性について、ご講演いただきました。

講演では、ガイガー・ミュラー (GM) 管など、複数のサーベイメータを用いて、測定方法を実演いただきなが

ら、計測機器の測定原理をご説明いただきました。また、半導体検出器などの複数の計測器の違いや、放射線量の測定における校正の必要性、信頼性のある計測値を得るための方法を解説いただきました。

続いて、食品・土壌の放射能測定 (ベクレル (Bq/kg) の測定) では、食品の放射能濃度基準やゲルマニウム半導体検出器の校正などを解説いただき、産総研から頒布されている玄米の認証標準物質について紹介いただきました。最後に、放射線量・放射能測定におけるトレーサビリティについて解説いただきました。

セミナーには、約40名の方々にご参加いただき、講演終了後には、放射線校正や安全性に関する質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



セミナーの様子



放射線計測を実演する講師の齋藤氏

プログラム

2012年11月20日 (火) 15:30 ~ 17:00

○「放射線・放射能計測の信頼性について」

講師：齋藤則生 氏 (独立行政法人 産業技術総合研究所 計測標準研究部門 量子放射科 科長)